

ホームページの「授業ガイド<履修登録について>の動画」を必ず視聴し、
 学生便覧および本資料を確認して時間割を作成しましょう。

1. 法学部固有科目について (学生便覧 P.28)

「法学部固有科目」とは、法学部生のために開講される法学専門科目です。
 以下の表の中から、履修する科目を選択し、卒業までに必要な単位を計画的に修得する必要があります。
 必要な科目には一定のルールがあります。以下内容を確認し、よく理解しましょう。

- 1年生が履修できる科目は1年の列に表示されている9科目のみ(上級生は下級生の科目を履修可能)。
- 卒業に必要な学部固有科目単位数は80単位(内訳:必修4単位+選択必修①20単位+選択必修②26単位+選択30単位)。
- 必修科目は卒業までに必ず合格して単位を修得する必要がある。不合格となった場合は翌年再履修する必要がある。
- 選択必修①グループから20単位、選択必修②グループから26単位を選択し、卒業までに必ず修得する必要がある。
- 選択必修①と選択必修②の必要単位数を超えて修得した単位は、選択科目の30単位にカウントする(2年生以上)。
- 学部固有科目の他に、全学共通科目44単位を卒業までに修得する必要がある。※学生便覧P.24参照

必修科目
 卒業までに必ず修得する必要がある。

選択必修①
 卒業までに20単位(10科目)選択して修得する必要がある。

選択必修②
 卒業までに26単位(13科目)選択して修得する必要がある。

選択必修①と選択必修②の必要単位数を超えて修得した単位は、選択科目の単位としてカウントする。
 ※選択科目30単位を超えて修得した場合は、自由単位となり、卒業所要単位には含まれない。
 (例)選択科目を32単位修得した場合
 ⇒選択科目:30単位
 自由単位:2単位

選択科目
 卒業までに30単位選択して修得する必要がある。
 必修科目以外の科目は全て選択科目の単位として認められる。

科目群	1年				2年				3年				4年				卒業要件(80単位)	
	科目名(単位)				科目名(単位)				科目名(単位)				科目名(単位)					
基礎科目	必修科目	法学の基礎 [2] キャリア形成の基礎 [2]																必修 4単位
	入門科目	民法入門 [2] 情報リテラシー [2] 刑事法入門 [2] 政治学入門 [2]																
	演習	入門演習 [2年]																
	憲法	憲法IA(人権) [2]				憲法IB(人権) [2] 憲法IIA(統治機構) [2] 憲法IIB(統治機構) [2]												
	民法	民法I(民法総論) [2]				民法II(物権法) [2] 民法III(債権総論) [2]												
専攻科目	刑事法					刑法IA(刑法総論) [2] 刑法IB(刑法総論) [2]												
	演習	基本演習 [2年]				専門演習I [2年]				専門演習II [2年]								
	行政法					行政法IA(行政法総論) [2] 行政法IIA(行政法実務) [2] 行政法IIB(行政法実務) [2]				行政法IIB(行政法実務) [2] 行政法IIC(行政法実務) [2]								
	民法	民法IV(担保法) [2] 民法V(債権総論) [2]				民法VI(親族・相続法) [2]				民法VII(相続法) [2]								
	刑事法					刑法IIA(刑法各論) [2]				刑事学A [2] 刑事訴訟法A [2]				刑事学B [2] 刑事訴訟法B [2]				
	企業法	商法IA(商法総論・商行為論) [2] 商法IB(商法総論・商行為論) [2]				商法IIA(会社法) [2] 商法IIB(会社法) [2] 商法IIIA(株式法) [2] 商法IIIB(株式法) [2]				商法IIIA(会社法) [2] 商法IIIB(会社法) [2] 商法IIIC(株式法) [2] 商法IIID(株式法) [2]								
	民事手続法					民法III(債権総論) [2]				民法IV(債権総論) [2]								
	社会法					労働法A [2] 社会保険法A [2]				労働法B [2] 社会保険法B [2]								
	基礎法					法哲学A [2] 法史学A [2]				法哲学B [2] 法史学B [2]								
	国際関係	国際関係論A [2]				国際関係論B [2]				国際法A [2] 国際法B [2] 国際経済法A [2] 国際経済法B [2] 地域研究 [2]								
関連科目	政治学	政治学 [2] 行政学 [2] 政治過程論 [2]				政治学 [2] 行政学 [2] 政治過程論 [2]				政治学 [2] 行政学 [2] 政治過程論 [2]								
	卒業論文									卒業論文 [2年]								
	法実務プログラム	法実務I-1(国際関係) [2] 法実務I-2(民法) [2] 法実務I-3(民法) [2]				法実務II(民法) [2]				法実務III(国際関係) [2] 法実務IV(民法) [2]								
	先端研究プログラム	先端研究I(政治学) [2]				先端研究II(民法) [2] 先端研究III(民法) [2] 先端研究IV(民法) [2] 先端研究V(民法) [2] 先端研究VI(民法) [2]				先端研究I(民法) [2] 先端研究II(民法) [2] 先端研究III(民法) [2] 先端研究IV(民法) [2] 先端研究V(民法) [2] 先端研究VI(民法) [2]								
	先導研究	先導研究I [2]				先導研究II [2] 先導研究III [2] 先導研究IV [2] 先導研究V [2] 先導研究VI [2]				先導研究I [2] 先導研究II [2] 先導研究III [2] 先導研究IV [2] 先導研究V [2] 先導研究VI [2]								
	経済・経営	経済学I(ミクロ経済学) [2] 経済学II(マクロ経済学) [2]				経済学 [2] 会計学 [2]				経済学 [2] 会計学 [2]								
	他学部開講					総合政策学部開講科目の指定科目 [最大16]				インターンシップ [2]								
	実践									短期海外演習 [2]								
	その他									海外留学科目 [最大16]								

※1 選択必修①②それぞれの卒業要件単位数を超えて修得した単位は、選択科目の単位(最大30)に換算されます。
 注) 「地法A」「地法B」「自然地理学A」「自然地理学B」は教職課程の科目のため、教職課程のページをご覧ください。

2. 時間割作成のポイント

大学の時間割は自分で作成する必要があります。以下手順に沿って、自分の時間割を作成しましょう。
1年生春学期に履修登録できる最大単位数は、23 単位です。

班によって時間割が異なりますので、注意してください。
 (班は新入生ガイダンスおよび ALBO のお知らせで案内します)

履修登録例 A～C 班の学生

	月	火	水	木	金
1 限	▲インターミディエイト /エレメンタリー 英語コミュニケーション A (1)		▲インターミディエイト /エレメンタリー 英語リーディング A (1)	★法学の基礎 (2)	入門演習 (2)
2 限	▲インターミディエイト /エレメンタリー 英語コミュニケーション A (1)	▲第二外国語 A (1)			
3 限	入門演習 (2)	●民法入門 (2)	●情報リテラシー (2)		入門演習 (2)
4 限				▲第二外国語 B (1)	

学部固有科目 全学共通科目

履修登録例 D～F 班の学生

	月	火	水	木	金
1 限	▲インターミディエイト /エレメンタリー 英語コミュニケーション A (1)		▲インターミディエイト /エレメンタリー 英語リーディング A (1)	★法学の基礎 (2)	入門演習 (2)
2 限	▲インターミディエイト /エレメンタリー 英語コミュニケーション A (1)	▲第二外国語 A (1)			
3 限	入門演習 (2)	●民法入門 (2)			入門演習 (2)
4 限			●情報リテラシー (2)	▲第二外国語 B (1)	

学部固有科目 全学共通科目

※法学の基礎、第二外国語 A・B は、あらかじめ登録されています(自身で登録する必要はありません)。

※履修する第二外国語は、履修登録の画面に表示されていますので、確認してください。

※情報リテラシーは班によって、履修する時限が異なります。

※入門演習は、ゼミによって開講する曜日時限が異なります。月曜 3 限・金曜 1 限・金曜 3 限に開講されますが、履修するのは 1 コマのみです。

①学部固有必修科目(★)1科目を入れる 2単位

法学の基礎(上表★がついた科目)を入れる。

⇒あらかじめ登録されています(自身で登録する必要はありません)。

②全学共通必修科目(▲)4科目を入れる 4単位^{※1}

■英語コミュニケーション/英語リーディング(点線枠)を各1科目ずつ選択する(2単位)

・まずは各科目のレベル(エレメンタリー、インターミディエイト、アドバンスト)を選択。 ※学生便覧 P.26 参照

・次に各教員の授業内容をシラバスで確認し、履修するクラスを選択。 ※履修可能なクラスは時間割表記載科目のみ

・アドバンストクラスは、月3・水3・木1に開講。

■第二外国語 A・B は指定されたクラスを入れる(2単位)

⇒あらかじめ登録されています(自身で登録する必要はありません)。

・第二外国語 A・B は 2 単位科目だが、履修登録単位数を計算する際は、各セメスター1単位で計算する。

※1. 1 年を通じて授業を行う「通年科目」は、単位数を 2 で割った数を、各セメスターの履修登録単位数としてカウントすること。

③学部固有選択必修科目(●)2科目を入れる 4単位

・民法入門、情報リテラシーを入れる。

*必修科目ではありませんが、履修を推奨します(大多数の1年生が履修します)。

民法入門:この科目を履修しておかないと、1年生の秋学期以降に履修することになる法学部の主要な私法系科目(民法や商法など)の理解がきわめて困難になります。

情報リテラシー:この科目では、パソコンの操作やインターネット・情報セキュリティ等についての基礎的な知識と技術が得られます。早めに修得しておかないと、大学生活だけでなく、卒業後の職業生活にも大きな支障をきたします。

*残りの選択必修①(刑事法入門・政治学入門・憲法 I A(人権)・民法 I (民法総則))は秋学期に履修可能です。

④入門演習を入れる⇒合格したゼミ(入門演習)を教務センターが登録します 2単位^{※2}

・入門演習は 4 単位科目だが、履修登録単位数を計算する際は、各セメスター 2 単位で計算すること。

※2. 応募したゼミのコマ(曜日・時限)には他の科目を登録しないでください!

⑤残りの時間に全学共通科目を入れる 11単位

■スポーツ実技科目を 1 科目選択する(1単位)^{※1} 1 年生での履修を推奨 ※学生便覧 P.25 参照

■各科目群の「学びのエッセンス」/「テーマからの学び」の中から 5 科目選択する(10単位)

履修登録例 (合計 23 単位登録した場合)

【学部固有】法学の基礎、民法入門、情報リテラシー、入門演習 ⇒ **合計 8 単位**

【全学共通】インターミディエイト英語コミュニケーション A、インターミディエイト英語リーディング A、中国語基礎 A、中国語基礎 B、卓球(スポーツ・健康)、健康科学(スポーツ・健康)、ウェブ設計(自然の探究)、人間の心と言葉(人間の探究)、人文地理学(社会の探究)、ジェンダー論(複合領域) ⇒ **合計 15 単位**

23 単位履修登録しても空きコマが発生しますが、問題ありません。

3. 法学部固有科目 注意事項

2 年生以上で関係するルールもありますが、卒業に関わる重要な内容のため、学生便覧 P.28 と併せて確認しましょう。

■法学部の授業形態について(便覧 P.30)

法学部の科目の中には、A と B を同時に履修登録しなければならない科目があります(全て 2~4 年生対象科目です)。

(例)労働法 A・B、社会保障法 A・B、法哲学 A・B など

■卒業要件について(便覧 P.23)

卒業には、卒業所要単位の充足と、4年生の第7セメスターと第8セメスター(4年生の春学期・秋学期)でそれぞれ **2単位以上履修・修得をしなければなりません**。なお、4単位の通年科目(「専門演習Ⅱ」)は、第7・8セメスターに2単位ずつ修得したものとみなしますので、「専門演習Ⅱ」を履修・修得した場合にはこの条件を満たすことになります。

対象となる科目は、全学共通科目、学部固有科目、及び、自由科目(資格課程・教職課程)です。ただし、集中講義、「卒業論文」、及び、修得単位が「N」と認定される科目(「インターンシップ」「海外留学科目」「短期海外演習」など)は、除きます。

時間割を作成してみましょう！

履修計画表:春学期

時限	項目	月	火	水	木	金
1限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
2限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
3限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
4限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
5限	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
集中講義	科目名					
	(単位数)	()	()	()	()	()
	【教員名】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】

履修計画チェック表

項目	チェック
学部固有の必修科目のうち、春学期に履修できる「法学の基礎」をいれましたか？	<input type="checkbox"/>
全学共通の第二外国語科目は、割り当てられた言語・クラスをいれましたか？	<input type="checkbox"/>
全学共通の英語科目は、英語コミュニケーションと英語リーディングを1科目ずついれましたか？	<input type="checkbox"/>
学部固有選択必修科目をいれましたか？	<input type="checkbox"/>
入門演習をいれましたか？(2単位で計算)	<input type="checkbox"/>
全学共通科目をいれましたか？	<input type="checkbox"/>
スポーツ実技科目1科目を入れましたか？	<input type="checkbox"/>
第二外国語を各1単位(A:1単位 B:1単位)で計算し、入門演習を2単位で計算した上で、履修登録制限単位の23単位以下ですか？	<input type="checkbox"/>

履修に関する FAQ(よくある質問)

≪時間割を組むこと全般についての質問≫

Q 「時間割」をどのように組めばいいかわかりません。

「法学部 時間割作成のポイント」の手順で組んでください。

《履修登録例》の通り時間割を組み立てる場合、皆さんが選択する必要のある科目は以下の3つです。

①英語リーディング A・英語コミュニケーション A 各1クラス (便覧 P.24 参照)

②スポーツ実技科目 1科目 ③その他の全学共通科目 5科目

科目内容はシラバスを、科目の開講時限は時間割表を確認し、科目を選択してください。

併せて大学ホームページに掲載している「授業ガイド<履修登録について>の動画」を見てください。

法学部の1年次の学部固有科目は履修登録できる科目が少ないので、「履修登録例」に従って時間割を組むことをおすすめします。

Q 「単位」とは何ですか。

履修した授業に出席し、一定以上の成績を修めると、その証明として学校から与えられるものです。

単位は数で表され、便覧 (P.24・28) 科目名の後ろにあるカッコの中の数字が、その科目を合格した際に修得できる単位数を表します。**法学部を卒業するために必要な単位数は、「124 単位」(そのうち、全学共通科目から 44 単位、学部固有科目から 80 単位) です。**4年間を通じて必要な科目を履修し合格することで単位を取得し、卒業までに 124 単位を修得する必要があります。

Q 何単位分履修登録をしたらいいですか。

履修登録制限単位数内であれば、履修登録する単位数は自由ですが、4年間で余裕を持って卒業できるよう、**可能な限り多くの単位を履修することを推奨します。**春学期に履修登録できる単位の上限(履修登録制限単位)は「**23**」単位です(便覧 P.23 参照)。例年多くの先輩は 23 単位分の履修登録をしています。

Q 英語基礎科目クラスの選択ですが、自分のレベルがわかりません。

便覧 (P.26) の「受講対象者のレベルと到達目標」の表を参照してください。ベーシックのクラスは再履修者専用クラスのため、1年生は選択できません。なお、コミュニケーションとリーディングはレベルが異なっても構いません。

Q 英語基礎科目のアドバンストクラスを履修したいのですが、時間割表から見つけれません。

アドバンストクラスは、**月3・水3・木1**に開講されます。時間割表で確認してください。

Q スポーツ実技科目を1セメスターに2科目履修登録することはできますか。

各セメスターに履修登録できるのは、**1科目のみです**(シーズンスポーツを除く)。(便覧 P.24・25 参照)

Q 授業実施方法は原則「面接授業」とありますが、それ以外の授業実施方法もあるのでしょうか。

授業実施方法は、「面接授業」と「遠隔授業」に分類され、授業科目によって異なります。

【面接授業】対面での授業が全授業回のうち半数以上（15回授業であれば8回以上が対面での授業）

【遠隔授業】オンラインでの授業が全授業回のうち半数以上（15回授業であれば8回以上がオンラインでの授業）

各授業の実施方法は、シラバス、時間割表、CHUKYO MaNaBo で確認することができます。

なお、オンラインでの授業形態は以下のように分類されます。

【オンライン授業形態】

リアルタイム型：授業時間割に記載されている曜日・時限で同時双方向にて行う授業形態

オンデマンド型：リアルタイム以外のインターネット配信を利用した方式で行う授業形態

MaNaBo 等を利用し、授業担当教員が提示した資料に基づいて学修を進め、課題レポートの作成、提出を行う方法。

Q 全学共通科目は、1年生のうちにはではなく、上級生になってから登録しても良いですか。

登録できるものは、1年生のうちに登録しておきましょう。上級生になればなるほど、専門的な内容を扱う学部固有科目が増えてきて、時間割の融通が利かなくなります。また、法学部の学部固有科目が開講される校地Ⅱと、全学共通科目が開講される校地Ⅰは距離が離れているので、上級生になってから校地Ⅰに通うのも大変です。スポーツ実技科目や語学科目は1年生で履修・修得する学生が多いです。

≪法学部の学部固有科目についての質問≫

Q 必修科目とは何ですか。

必修科目とは、卒業のため、必ず履修しなければならない科目のことです。法学部では、「法学の基礎」（1年春学期）と、「キャリア形成の基礎」（1年秋学期）があります。

Q 1年生の必修科目の単位を落としてしまったら、2年生になれないのですか？

2年生になることはできますが、2年生になったら、再度履修登録をしてください。その際は、自動登録されませんので、**自分で忘れずに登録しなければなりません。**

≪ゼミ（入門演習）についての質問≫

Q 「ゼミ」とは何ですか。

講義が、先生一人に対して大教室で大人数の生徒が受講するのに対して、ゼミでは、先生一人に対して4～20人程度の少人数で構成されます。通常、多くのゼミでは、担当の先生の専門に関する問題について、自分で調べ、それを皆の前で発表し、議論をおこないます。ゼミ活動を通じて、専門知識が深まり、就職活動や公務員試験の面接に必要なコミュニケーション能力が養われます。ゼミは、「演習」と表現されます。つまり、**「入門演習」は、1年生用のゼミです。**

Q 「入門演習」は履修した方が良いですか。

シンプルに答えれば、「履修したほうが良い」です。ゼミ形式の授業は、講義形式の授業と異なり、教員と相互のやり取りによって成り立っています。コミュニケーション能力や、プレゼン能力等、講義形式の授業とは異なった力を身に付けることができます。

Q 「入門演習」はいつ、どのように募集されるのですか。

新入生ガイダンス時に配付する申し込みスケジュールに従って、まずは第1希望のゼミを **ALBO** から応募してください。応募する際、**1,000字以内で志望理由**を書いてください。この結果が出て、見事合格すればそのゼミに所属できますが、落ちてしまったら、第2希望のゼミに同様に応募する、結果を見て、必要であれば第3希望のゼミに応募する、という形をとります。希望のゼミに落ちてしまっても、あきらめずに最後まで応募し続けることが、ゼミに入るためのポイントのひとつです。なお、一次募集に応募し忘れてしまっても、二次募集から応募することができます。

Q 「入門演習」の志望理由に何を書いたらよいかわかりません。

このような応募の仕方は、就職活動の際に記入しなければならない**エントリーシートと同じ**ですので、その訓練だと思って頑張って書いてみましょう。なぜそのゼミに応募したのか、ゼミの募集要項をよく読んで、**どういう点に興味があるのか**という点は必ず書かなくてはなりませんね。それ以外に、自分のアピールポイントを書いていくと良いと思いますが、そのゼミで自分がどんな役割を果たせそうか、ゼミに貢献できそうか、ということとうまく絡めながら書くと良いですね。できるだけ1,000字まで書くように努力しましょう。熱意が伝わりやすいと思います。

Q 応募すればどこかのゼミには入れるのでしょうか。

たとえば、**志望理由が書いていないもの**や、**志望理由とみなすことができないような場合**には、**最終的にどのゼミにも入れない**ということがあります。

Q 「入門演習」の選考に落ちてしまったらどうしたらいいですか。

法学部では、2年次に「基本演習」、3年次に「専門演習Ⅰ」、4年次に「専門演習Ⅱ」というゼミが開講されています。**万一選考に落ちてしまっても、来年度以降、各学年で開講するゼミには応募することができます**ので、安心してください。

◀履修登録についての質問▶

Q

シラバスに掲載されているが、履修申請画面で表示されない科目があります。履修登録画面に表示されている科目のみ申請できるのでしょうか。

時間割表および履修登録画面に表示されている科目のみ履修申請することが可能です。

例えば、第二外国語科目は、1年生は時間割記載（学部ごとに指定）の曜日時限のみ履修することが可能ですが、再履修生（上級生）は、その他曜日時限を履修することが可能です。シラバスでは、再履修生（上級生）用に新入生が履修できない曜日時限のクラスも表示される仕様となっております。その他、クラス指定や履修条件等で一部シラバスに記載されているが、履修登録画面に表示されない科目があるかもしれません。履修登録画面に表示される科目が現在履修申請できる科目となりますので、履修登録画面および時間割表にてご確認ください。

Q

第二外国語が希望の言語ではありません。どうしたらいいですか。

各言語には教育の質を担保するために、定員が設定されています。現在表示されている第二外国語については、厳選な抽選を行った結果によるものです。**変更することはできません。**

卒業に必ず必要な科目となりますので、現在登録されている言語を受講し修得してください。

Q

【履修修正期間】二次抽選で落選した科目があった場合どうしたらいいですか。

また、履修が確定した科目を修正して、新しい科目を履修登録することはできますか。

二次抽選で落選した場合、4/7～の履修登録修正期間に追加登録を行ってください。

また、確定した科目についても修正することが可能です。履修登録修正期間で申請した科目は、先着順で、抽選にはなりません。申請できれば確定となります。

Q

履修登録した科目が MaNaBo に反映されません。

MaNaBo に履修科目が表示されるのは、次のタイミングです。

- ・一次申込期間（～4/3）申請し、当選した科目 → 4/4 の朝6時から反映されます。
- ・二次申込期間（4/4）申請し、当選した科目 → 4/6 の朝6時から反映されます。
- ・履修修正期間（4/7～4/12）に追加した科目 → 登録した**翌日の朝6時**から反映されます。

◀教職科目についての質問▶

Q

将来、教員になるために教職課程をとりたいと思っているのですが、必要な手続きはありますか？

12月～1月（予定）に実施される「1年生教職課程ガイダンス」に必ず出席してください。ガイダンス日等の詳細は、ALBOのお知らせで連絡します。